課題番号：2026-165
作成日：2026 年 08 月 28 日　第 1.2 版

Genomic-Based Diagnosis, Classification and Targeted Treatment of Multiple Myeloma

１．研究の対象

2000 年 1 月 1 日以降に National University Hospital において、IMWG（International Myeloma Working Group）の診断基準、再発基準または難治性基準を満たす多発性骨髄腫と診断された方が対象です。
また、Tan Tock Seng Hospital（TTSH）において、先行研究または Hematology Disease Registry & Tissue Bank により収集・保管された試料および情報のうち、将来の研究への利用について同意が得られているものも本研究の対象とします。

２．研究目的・方法

研究目的：多発性骨髄腫がどのような仕組みで発症・進行するのかについて理解を深め、より早い診断や新たな治療法の開発につながる手がかりを見つけることを目的としています。

研究方法：研究対象者から提供いただいた試料を用いて、免疫染色、フローサイトメトリー、質量分析、血清の解析などの方法により、細胞やタンパク質などの特徴を詳しく調べます。

研究実施期間：研究許可日～20 年間

３．研究に用いる試料・情報の種類

【情報】情報：個人を特定可能な健康情報、診断録レビュー
【試料】血液、体液、骨髄、手術で摘出した組織等

４．試料・情報の授受

本研究では、Tan Tock Seng Hospital（TTSH）において収集・保管された試料および情報の一部が、解析のため国立がん研究センター（NCC）に提供されます。国立がん研究センターでは、提供された試料を用いて、免疫染色、フローサイトメトリー、質量分析、血清解析等を行います。
試料・情報の授受を行う際は、研究対象者を直接特定できる情報を除いた上で適切に管理します。
国立がん研究センターから TTSH を含む他の研究機関への試料提供は行いません。
現時点では、本研究で収集した試料・情報を将来的に別の研究に利用することは予定していません。

５．研究組織・研究責任者

Prof Chng Wee Joo (National University Hospital), A/Prof(Adj) TSO ALLISON CHING YEE (TTSH) (Tan Tock Seng Hospital),Dr Nagarajan Chandramouli (Singapore General

Hospital),Dr Teo Winnie (Alexandra Hospital),Dr Yap Eng Soo (Ng Teng Fong General Hospital),吉見昭秀(国立がん研究センター)

６．お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

（相談窓口）
国立がん研究センター　研究所　がん RNA 研究分野
〒104-0045　東京都中央区築地 5-1-1
TEL：03-3542-2511　（代表）
研究責任者：吉見昭秀